

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 24 年 4 月 26 日 (2012.4.26)

【公表番号】特表 2011-521072 (P2011-521072A)

【公表日】平成 23 年 7 月 21 日 (2011.7.21)

【年通号数】公開・登録公報 2011-029

【出願番号】特願 2011-510523 (P2011-510523)

【国際特許分類】

C 1 0 C 1/16 (2006.01)

C 1 0 C 3/02 (2006.01)

【F I】

C 1 0 C 1/16

C 1 0 C 3/02 E

【手続補正書】

【提出日】平成 24 年 3 月 7 日 (2012.3.7)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ピッチを生成する方法であって、

a) 沸点範囲が少なくとも 270 から始まるコールタール蒸留物を圧力下で加熱してタールを取得する工程と、

b) 前記タールを蒸留して、コークス化値が少なくとも 55% で且つ軟化点が 140 よりも低く、キノリン不溶分含有量が約 0.5 重量% よりも小さいピッチを生成する工程と、

を含むことを特徴とするピッチを生成する方法。

【請求項 2】

炭素及びグラファイト製品に含浸されるピッチであって、

軟化点が約 90 以上約 140 以下であり、且つ改良コンラドソン炭素コークス化値が約 55% 以上約 70% 以下であり、且つキノリン不溶分含有量が約 2 重量% よりも少ないピッチが含まれている

ことを特徴とする炭素及びグラファイト製品に含浸されるピッチ。

【請求項 3】

炭素及びグラファイト製品用のバインダーピッチであって、

軟化点が約 90 以上約 140 以下であり、且つ改良コンラドソン炭素コークス化値が約 55% 以上約 70% 以下であり、且つキノリン不溶分含有量が約 1.5 重量% よりも少ないピッチが含まれている

ことを特徴とする炭素及びグラファイト製品用のバインダーピッチ。

【請求項 4】

ピッチを生成するための連続法であって、

a) 沸点範囲が 270 から始まるコールタール蒸留物を、該コールタール蒸留物が反応炉内を流れている間に圧力下で約 450 以上の温度にまで加熱して、タールを取得する工程と、

b) 前記タールを蒸留して、コークス化値が少なくとも 55% で且つ軟化点が 140 よりも低く、キノリン不溶分含有量が約 0.5 重量% よりも小さいピッチを生成する工程

と、  
を含むことを特徴とするピッチを生成するための連続法。